



## 鳥獣被害対策実施隊による 有害鳥獣の農作物被害防止の取組について

鳥獣被害対策実施隊は、令和2年度に46名、令和3年度は56名と隊員数を増やし、罠による捕獲や電気柵設置による被害防止などを地域ぐるみで実施しています。

- 平成29年に市内の畑でイノシシの足跡が見つかったことを契機に、アライグマ、ハクビシンも含めた有害鳥獣による農作物被害防止に取り組むため、平成31年4月に、現場で捕獲、被害調査などを行う、農家を中心とした鳥獣被害対策実施隊として36名で発足しました。
- 特にイノシシは、一度侵入を許し、定着へと進行すると被害が大きくなることから、近隣から市内への侵入を防ぐ水際対策を重点的に実施しています。
- 有害鳥獣による農作物被害額は、認知件数の増加により令和元年度は約980万円でしたが、実施隊員の活動効果から、令和2年度は約250万円まで被害額が減少しました。
- 県内でも、本市のように農家が中心となって組織された実施隊は特徴的であり、地域の農地を守るのは自分たちであるという意識を持って活動をしています。
- 依然としてアライグマ、ハクビシンを中心とした被害はあることから、今後も計画的に実施隊員の拡充を図り、隊員数100名を目標として、行政・地域・市民と連携し、地域全体の取組として有害鳥獣による農作物被害を防止します。

問合せ先

担 当 経済環境部農政課農業振興班

担当者 平山、尾崎

電 話 0476-93-4943 【直通】

F A X 0476-93-2101

(裏面に続く)





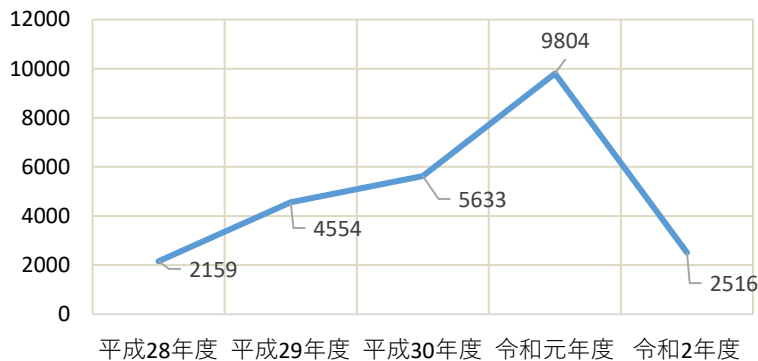
## ●令和2年度有害鳥獣による農作物被害状況

| 作物名    | 被害金額(円)(獣種別) |        |           |           |     |        | 計         | 令和元年度計    |
|--------|--------------|--------|-----------|-----------|-----|--------|-----------|-----------|
|        | カラス          | イノシシ   | アライグマ     | ハクビシン     | ウサギ | タヌキ    |           |           |
| トウモロコシ |              |        | 214,306   | 248,401   |     | 24,353 | 487,060   | 2,216,431 |
| 人参     |              | 22,327 |           |           |     |        | 22,327    | 0         |
| 落花生    | 16,533       |        | 231,456   | 33,065    |     | 16,533 | 297,587   | 768,237   |
| スイカ    | 256,316      |        | 666,421   | 444,281   |     |        | 1,367,018 | 2,476,946 |
| いちご    |              |        |           |           |     |        | 0         | 360,136   |
| ブドウ    |              |        | 10,911    | 32,732    |     |        | 43,643    | 770,625   |
| 梨      |              |        |           | 47,250    |     |        | 47,250    | 277,500   |
| 柿      |              |        |           |           |     |        | 0         | 0         |
| きゅうり   |              |        |           |           |     |        | 0         | 75,933    |
| 茄子     |              |        |           | 34,075    |     |        | 34,075    | 0         |
| ばれいしょ  |              |        |           |           |     |        | 0         | 125,172   |
| 枝豆     |              |        |           |           |     |        | 0         | 0         |
| ミニトマト  |              |        |           | 99,345    |     |        | 99,345    | 1,007,076 |
| ネギ     |              |        |           |           |     |        | 0         | 58,618    |
| ブルーベリー |              |        |           | 75,000    |     |        | 75,000    | 1,500,000 |
| メロン    | 0            | 0      | 0         | 43,624    | 0   | 0      | 43,624    | 167,940   |
| 計      | 272,849      | 22,327 | 1,123,094 | 1,057,773 | 0   | 40,886 | 2,516,929 | 9,804,614 |

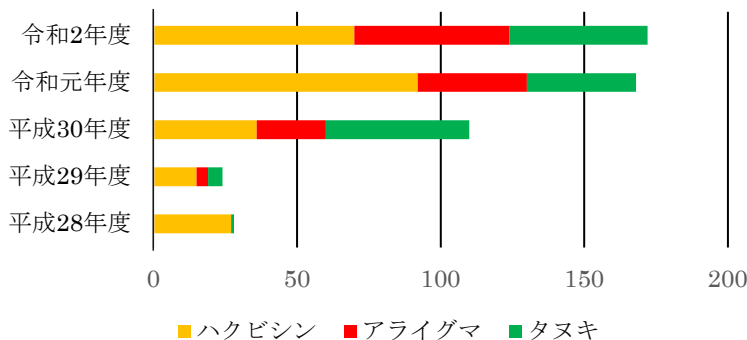
※アライグマ、ハクビシンによる農作物被害が急増しており、イノシシによる被害も一部確認されています。

★平成31年4月1日に富里市鳥獣被害対策実施隊を設置し、被害調査等を本格的に行ったことで、今まで明らかになっていなかった被害が判明し、実態に近い被害金額算定になっています。

### 全体被害額【千円】



### 獣別捕獲実績【頭数】



隊員で揃えたTシャツ



出典：第2次千葉県第二種特定鳥獣管理計画（イノシシ）

（変更 平成29年11月7日）

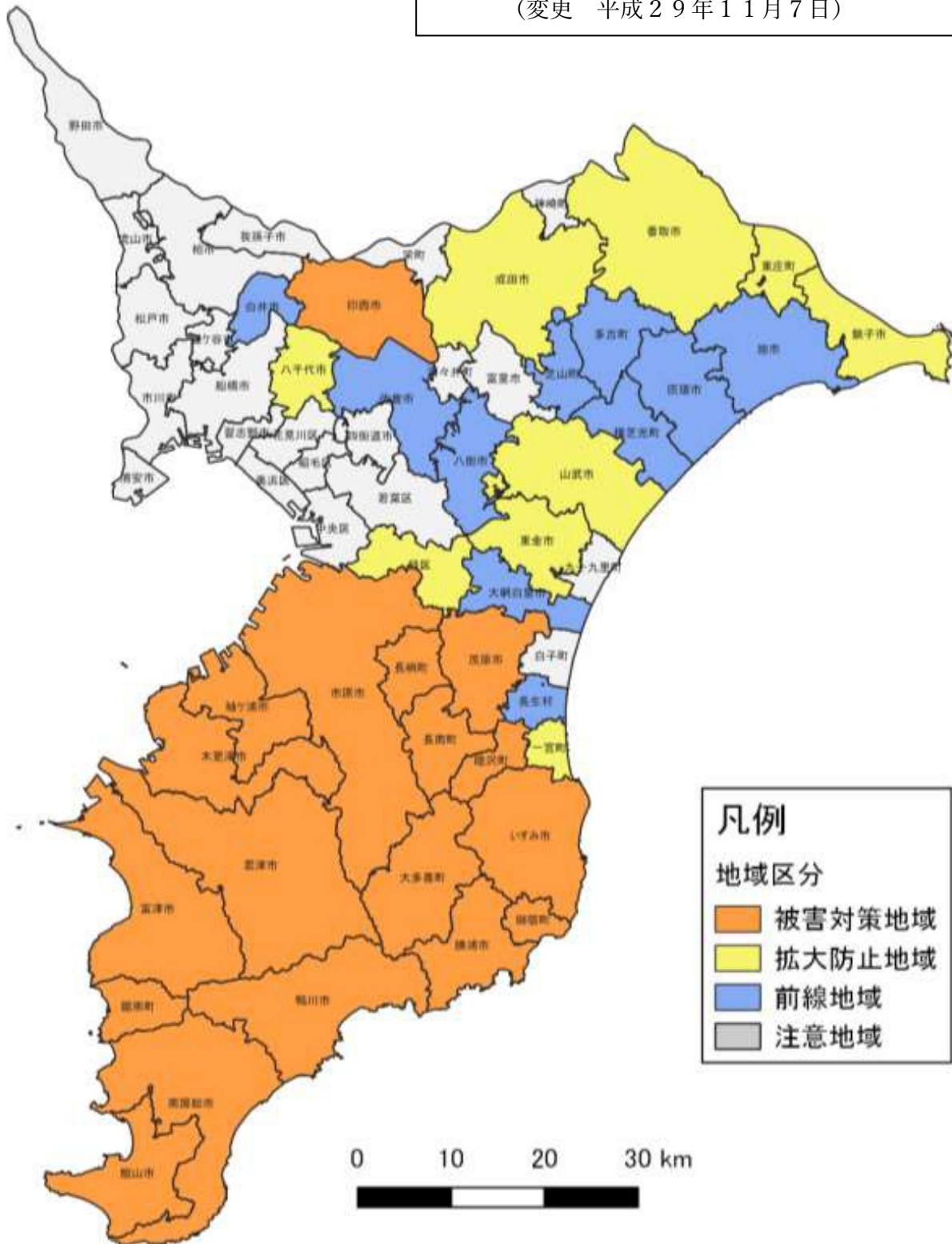


図10 地域区分図

※各市区町村の一部のみで生息が確認されている場合でも、当該市区町村の全域に着色している。

※生息が確認されていない市区町村でも、近隣で生息が確認されている場合は、予防的な観点から前線地域としている。

表6 地域区分の定義と対策の方向性

| 地域区分   | 定義   | 対策の方向性  |
|--------|--|---|
| 被害対策地域 | 農作物被害が常態化しており、引き続き対策を行う地域                                | 被害の軽減を図るため、柵の設置や生息環境管理も含めた、効果的な被害対策を実施する。                             |
| 拡大防止地域 | 農作物被害が拡大・増加しており、特に早期に重点的に対策を行う地域                         | 被害の軽減を図るため、柵の設置や生息環境管理も含めた、効果的な被害対策を実施するとともに、捕獲を強化し、分布域の拡大防止を図る。      |
| 前線地域   | イノシシの生息域の前線となっている地域で、農作物被害が始めている地域、もしくは生息域や被害の拡大が危惧される地域 | 出没状況や被害状況を迅速に把握し、初期段階で素早く捕獲するとともに、柵の設置や生息環境管理も併せて実施することで、分布域の拡大防止を図る。 |
| 注意地域   | 生息情報の無い前線地域の外周域  | 周辺地域のイノシシの生息状況について情報収集するとともに、侵入後、迅速に対応するための体制整備を図る。                   |